# TOKYO LEATHER PIGSKIN

2020

As pigskin has historically been eaten as part of pork in most of the world, Tokyo has been a global leader in pigskin-related technological development, where leather manufacturers have developed novel pigskin items such as softer leather, suede, non-chrome tanned leather, and various finishing methods. Tokyo prides itself on producing and supplying the world-class quality pigskin still today.

東京産の皮革ピッグスキン

TOKYO LEATHER PIGSKIN 2020

TOKYO LEATHER PIGSKIN 2020　東京都／東京製革業産地振興協議会
東京レザーファッションフェア 2019（ピギーズ・スペシャル）に係る都内皮革鞣製業の広報・宣伝業務

JFW ジャパン・クリエーション 2020
主催：一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構　JFW テキスタイル事業運営委員会
後援：経済産業省、独立行政法人中小企業基盤整備機構、他

産業労働局商工部 経営支援課
2019年11月発行
登録番号(31)42

R80 古紙パルプ配合率80%再生紙を使用
古紙配合80％の再生紙を使用しています。環境に配慮したインキを使用しています。

TOKYO LEATHER PIGSKIN 2020

# 革が創られる街 東京・すみだ

## 歴史ある水のまち・すみだ

隅田川と荒川に挟まれ、街の中を旧中川、北十間川などが流れる墨田区。春夏秋冬を通じて、折々の美しい表情を魅せる水辺に恵まれたこの地は、水と共に生きる「川の手」として、「全国水の郷 百選」にも選ばれています。

江戸時代から、商業地や住宅地として栄えてきた歴史があり、墨堤の桜、隅田川の花火、国技館の大相撲、伝統手工芸、史跡など、さまざまな伝統文化がいまに息づく、魅力ある街となっています。

## 近代軽工業発祥の地

墨田区に皮革産業が発展したのは19世紀後半。近代軽工業発祥の地とも言われる墨田区は、瓦、染色、木材などから始まり、明治以降はメリヤス、マッチ、日用品など様々な産業が発達しました。特に家畜は「捨てるところがない」といわれるほど、すべてが利活用されてきました。

脂は油脂や石鹸に、毛はブラシに、皮は皮革、ゼラチン、コラーゲンに、骨は、油脂、ゼラチン、肥料、飼料にと、無駄にすることなく製品に生まれ変わらせたのも先人達の技術力です。その技術を伝承する工場が今もなお、この墨田の地でものづくりを続けているのです。

## 東京産の皮革『ピッグスキン』その多くはスカイツリーのある街『墨田区』で生産されています

### メイドイン東京のピッグスキン

「革」といえば「牛革」が思い浮かぶかもしれませんが、実は私たちは羊、山羊、馬、豚など様々な動物の革を利活用しています。特に関東では「豚」が一大消費地でもあり、その食肉の副産物である「豚の皮」を捨てずに再利用することで、しなやかなピッグスキンを生産してきました。

牛革の原皮は1／3が北米などからの輸入ですが、豚革は国内で唯一自給できる素材でもあります。そのクオリティや加工技術の高さは、世界一流メゾンのコレクションにも使われているほどです。

### 多彩な表現力をもつピッグスキン

ピッグスキンは、軽さ、通気性、摩耗に強いなどの特徴を持っています。銀面(表面)には“3個1組”の独特な毛穴を持ち、そのため他の皮革よりも通気性にすぐれています。古くから革靴の内側の革(ライニング)に、ピッグスキンが多く使われてきました。

かつては、国内皮革産業が盛んだったので、国内原皮100万枚、輸入原皮約900万枚あった時期もありました。最近は、国内での皮革生産が減っており、それにつれて牛皮の輸入量が少なくなっているので、国産原皮の割合が多くなってきています。国内原皮の65％～75％(65万枚～70万枚)が国内消費、輸入原皮が40万枚～50万枚。

骨のコラーゲンは、かつてインドなどで風化した牛骨を輸入して写真用ゼラチンなどを製造していました。日本では、骨から油を抽出したり、骨粉として肥料や飼料に利用したりしています。

さらに近年は、染色、仕上げ、型押し、箔押し、インクジェットプリント、転写フィルムなど、各社の努力によって様々な加工法が生み出されています。ここに掲載された素材だけでなく、他にも多彩なバリエーションがあります。
あなたのお気に入りの素材が見つかりましたか？

東京スカイツリー/ソラマチ5F
産業観光プラザ すみだ まち処(どころ)
皮革製品コーナー

世界に誇るピッグスキン
TOKYO LEATHER PIGSKIN

# ピッグスキンの基礎用語

## 原料皮の種類

● 豚　革　　ピッグスキン。 国内で自給できる唯一の革素材。東京都内で全国の 7 割が作られています。
100 ～ 130 デシ。
独特の 3 つ穴の毛穴が特徴的。多用な加工により需要を広げています。
軽くて通気性があり、靴の内側部や衣料品等にも幅広く使用されています。

● 牛　革　　原皮主産地　北米、豪州、欧州等、一部国産。 成牛半裁で約 300 デシ。 靴、袋物等に使用されます。
（カ　ウ）生後 1 年半以上を経過した、雌牛の革。
（ステア）生後数ヶ月程度で去勢された、雄牛の革。
（キップ）生後半年から 2 年の牛。半裁で 200 デシ。成牛に比べしなやか。
（カーフ）生後 6 ～ 7 ヶ月までの牛。 1 頭 60 ～ 100 デシ。
スエードがシルキー、価格は高い。

● 羊　革　　ほぼ世界全域に生息　50 ～ 70 デシ　柔らかい。
● 鹿　革　　原皮主産地　北米／豪州　80 ～ 100 デシ　比較的高価格。ぎん面のシボが豊か。

## 基礎用語

● ぎん面（吟面・銀面）　・革の表面となる部分で、独特のシワや凹凸があります。ぎん付き（革）とも言います。
1：顔料仕上げ
・雨や汗などの刺激に強く、汚れにくく、汚れが落としやすい。
・各パーツの色あわせがしやすい。
・触った感触がドライで、色に深みが欠ける場合があります。
2：染料仕上げ
・触った感触がしっとりして柔らかい、革らしいシボが活かされます。
・色合いに透明感、深み感があります。
・各パーツで多少色味が違うことがあります。

● スエード　　革の裏面をサンドペーパーで起毛させたものです。
・ピッグスエードは柔らかく使いやすい素材です。
・腹部の繊維が荒くまばらに見える部分があります。
・毛先が弱いので毛切れが起こり色落ちと間違える場合があります。

● ヌバック　　革のぎん面をサンドペーパーで起毛させたものです。
● 床（とこ）革　　皮を 2 層に分割したもので、銀面を持たない方を原料にした革。

● 鞣し（なめし）　　動物の「皮」に化学的な処理を施して、腐敗しにくく、耐久性や強度 に優れた「革」を製造すること。

● クローム鞣し　　広く自然界に存在し安全な三価クロムを用いた鞣し方法。
製造期間が短く、コスト面で優れています。
柔軟性、弾力性、耐熱性、染色性（染める前は青みがかっています）にも優れています。
タンニンや他の鞣製剤と組み合わせて使用されることもあります。

● タンニン鞣し　　植物の樹皮、葉等から抽出したタンニン（渋）で鞣す方法。
固く、伸びが小さく、可塑性に富みます。
使い込むうちにエイジング（色が濃くなり、光沢に深みがでる）が起こるのが特長です。

● デシ（DS）　　革を取引する単位で 10cm×10cm の大きさ。欧米ではＳＱＦＴ（1 スクエアフィート＝9.29 デシ）
ピッグスキンは平均 120 デシほどです。





# 皮革加工一覧

代表的な加工をピックアップしました。詳細は各ページまたは各社へお問い合わせください。

●自社内で可能
○連携工場で対応

| | | 石居みさお（中村貿易） | エセカ | 兼子皮革染色 | 墨田革漉工業 | 墨田キール | ティーエムワイズ | ティグレ | 長坂染革 | ニシノレザー | 福島化学工業 | 山口産業 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 下地素材 | オリジナル対応 | ● | ● | ● | | ● | ● | ● | | ● | ● | ● |
| | スエード手配 | ● | | | | ● | ● | ● | ● | | | |
| | その他手配 | | ● | | ● | ● | | ● | ● | | ● | |
| | スエード在庫 | ● | | | ● | ● | ● | ● | | | | |
| | その他在庫 | | | | | ● | | ● | ● | | ● | ● |
| 染色 | 染料染色 | ○ | ● | ● | ○ | ● | ○ | ● | ● | | ● | ● |
| | 顔料染色 | ○ | ● | ● | ○ | ● | ○ | ● | ● | | ● | |
| | 手塗り | | ● | | ○ | ● | ○ | ● | ● | | | |
| 仕上げ方法 | 抗菌 | | | ● | | ● | | | | | ● | |
| | シュリンク | | ● | ● | ○ | | ○ | ● | ● | | | |
| | 撥水 | ○ | ● | ● | ○ | ● | ○ | ● | | | ● | |
| | クラック | ○ | ● | ● | | ● | ○ | ● | ● | | ● | |
| | ウォッシャブル | | ● | | | ○ | | ● | | | ● | |
| 後加工 | 柔軟仕上げ | | ● | | | ○ | ○ | ○ | ● | | ● | |
| | グレージング | | ● | ● | | ● | | ○ | ● | | ○ | |
| | フィルム・箔 | ○ | ○ | | ● | ● | ○ | ○ | ● | | ○ | |
| | 型押し | ○ | ○ | | ● | ● | | ○ | ○ | | ○ | |
| | パンチング | ○ | ○ | | ● | ○ | | | ○ | | ○ | |
| | 転 写 | ○ | | | ● | ● | | | ○ | | | |

TOKYO LEATHER PIGSKIN 2020

# 石居みさお皮革

販売代理店
## 中村貿易株式会社

販売代理店
中村貿易株式会社
専務取締役
中村 伸一
Shinichi Nakamura

## ピッグスエードの色バリエーションは随一。定期的なSNSでの情報発信も

### ■革を立体のプロダクトに仕立てて イメージを喚起

“ピッグスエード”に特化した卸売り企業ということで、この業界のなかでも大変珍しい存在として知られている。基本色を押さえつつ、顧客ニーズに応じてバリエーションを増やしていき、カラー展開は80色もある。

専務取締役の中村伸一さんによると、「常に在庫ストックがあるので、『１枚だけ』でも『同ロットの同色を20枚』という発注でもOKです。200枚づつ染めているため、色ブレが少ないのもご好評いただいている点です。」と話す。

最近では、「革を立体にすることでイメージがわきやすくなるのでは?」という思いから、財布や小銭入れといったシンプルな革小物なども製作している。一枚の革のままよりも、作り手のイマジネーションが喚起されるのではというアイデアだ。来年にはギフトショーにも参加して、カラー展開の強みを活かし、40色のピッグスエードを使ったコインケースなど“色バリエーションが伝わりやすい”ラインナップを考えている。

「今後は“素材屋から発信する革アイテム”という切り口で、自分たちの強みを活かしたOEM商材などの提案も考えています」と中村専務は話す。

### ■エンドユーザーとのコミュニケーションで 革の良さを伝える

中村貿易では、ハンドメイドなどを趣味とする一般の方々向けにも、一枚から購入できる革のインターネット販売を行っている。合皮とは違った革のアナログな魅力や、ピッグやゴートなど動物別の特徴など、HPやツイッター、インスタグラムなどで積極的に情報発信を行っている。

エンドユーザーに対して丁寧に販売することで、互いにコミュニケーションも取れるので、ニーズを汲み取りながら長いお付き合いになることが多いとのこと。

「最近は、アナログである革の良さが、ここに来て見直されているのではということを感じます。ローテクだからこそ、若い世代にとっては魅力的に映るようです。その強みをもっと活かして、幅広い方々に革の面白さを伝えていきたいと思っています」と中村専務。

### Editor’s Memo

- ◆30代の中村専務はSNSを積極的に使って情報発信するのが得意。Instagramには新製品などが定期的に掲載される
- ◆80色のサンプル帳は一部500円で販売中。「ベージュ」ひとつ取っても微妙色の違いに驚かされる
- ◆国内産のエコロジカルスエードを下地に使って染めた、健康に配慮したラインナップも豊富

石居みさお皮革　〒131-0042 東京都墨田区東墨田 3-21-13
TEL.03-3616-8264　FAX.03-3616-8279


問い合わせ


販売代理店：中村貿易株式会社
〒131-0045　東京都墨田区押上 3-62-3　中村ビル
TEL.03-6657-4440
FAX.03-5247-4080
nakamura@abctown.net
http://abctown.net/

お客さまへ

ピッグスエードの革問屋です。80色以上の色数を常時在庫して、１枚のサンプルから生産分まで、スピードと安定供給を目標に営業いたしております。またピッグレザーを中心とした革の新素材を様々に提案いたしておりますので、お気軽にご相談ください。

**取扱素材・加工一覧　自社内で可能■　連携工場で対応◢**

■ 豚革　□ 牛革　□ ゴート 山羊　□ シープ 羊
■ タンニン鞣し　□ 混合鞣し　■ クロム鞣し　■ ホワイト鞣し　■ エコレザー認定可

**下　地**

■ オリジナル下地対応　最小ロット５０枚くらいから　□ サンプル製作可
■ 下地を手配可能 …… ■ スエード …… □ スエード以外
■ 下地の在庫あり …… ■ スエード８０色　小売可 …… □ スエード以外

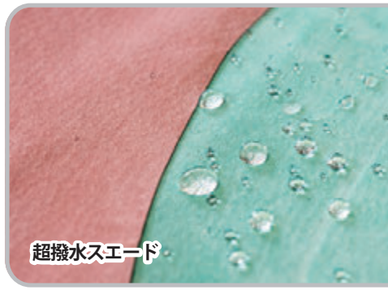
**仕上げ方法**

■ サンプル製作可　最小ロット　１枚から
◢ 顔料　◢ 染料　◢ 素上げ　□ 抗菌加工　□ アンチック　□ シュリンク
□ しぼり染　□ 収縮　□ 手塗り　◢ 撥水加工　◢ クラック　□ プルアップ
□ パール加工　□ オイル　◢ ウォッシャブル

**後加工**

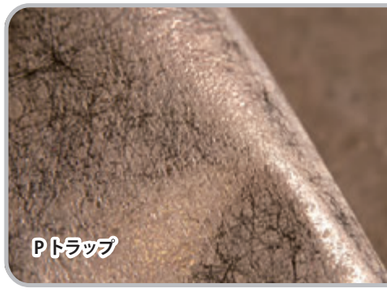
□ 柔軟仕上げ　□ グレージング　◢ フィルム加工　◢ 箔加工　◢ 型押し　□ 漉き
◢ 縮絨加工　◢ パンチング　◢ 転写プリント　◢ シルク印刷　◢ カッティング
◢ 3D加工　◢ プリーツ　□ 吟スリ加工　◢ 計量　□ インクジェットプリント

## 注目素材

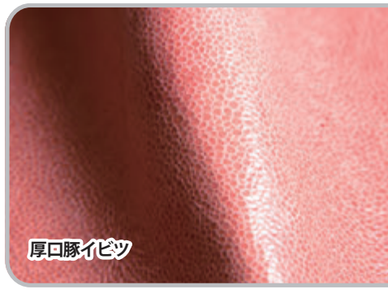



革を作る工程で撥水剤を革になじませる為、半永久的に効果が発揮されます。革の中に撥水剤が入っているため、水を浸透させず防水効果もあります。

豚スエードを下地に多色ラメ入りでプリント加工をしています。同系色のラメを使うことによって、控えめな色合いになります。




ランダムな糸状に箔が乗っています。
下地と箔は自由に変えることができます。




厚口豚に加工することにより、革のムラ感が出てフィルムにアンティーク感を出しています。

TOKYO LEATHER PIGSKIN 2020

# 株式会社エセカ

## 他にない染色や塗装技術にチャレンジし続ける、加工専門ファクトリー

代表取締役
江澤　正喜
Masayoshi Ezawa

### ■４ミリの厚手の革も加工する技術

OEMとして、クライアントから持ち込まれた皮革の、さまざまな加工を行っている株式会社エセカ。ユニークなこの社名は、「江澤染革株式会社」の頭文字から取られている。社名の通り、染色、塗装、二次加工といった、革の繊細な仕上げを得意としているが、「革の柔らかさやしなやかさ」を出す“味”加工のため、ドラムを使って再なめしなどを行っている。

ベルト、靴、バッグなどすべてのジャンルにまたがる革素材を扱っているが、特に4～4.5mm厚の牛革の仕上げは、他社でやっているところは少ない。最近では、こういった特色のある厚手の革のニーズが高まっており、独特のツヤ感や革味などが求められている。代表取締役の江澤正喜さんにお話しを伺った。

「私たちは国内だけでなく、海外から輸入された革を再加工するという仕事も少なくないです。ヨーロッパの革の素晴らしい技術に触れることも多いので、そういった点は改めて勉強になります。また最近は、ワイルドな味が楽しめる“厚手の革”のニーズが高まってきました。普通1.5～1.8mm程度の厚みが一般的ですが、その倍以上の厚みは、加工するのもなかなかの力仕事なのです。」と江澤社長は話す。

### ■革製の水着まで作ってしまうチャレンジ精神

牛革を背中から2つに割ったものを半裁と呼ぶが、それでも4mmの厚さは、なめすのも乾燥させるのも人手がかかる。

革をドラムに入れて希望の色に染色してから、手作業と機械を使って丁寧に水けを絞り、棒にくぎ打ちする。そこから革を伸ばし、1枚づつ天井に掛けながら干していくが、まだ水分を含んでいるため、1枚15キロという重さにもなるのだという。

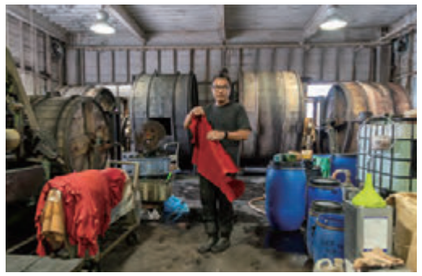
「手間がかかる作業ですが、いいものを作りたいという一心で続けています。最近では私の甥も入社してくれたので、若手のアイデアをものづくりに活かしていきたいですね。私も父から『失敗してもやるだけやってみろ』と言われながら育ったので、色々なチャレンジをしてほしいと思います。」

江澤社長曰く、以前商社からのオファーで、防水レザーを使った“革製の水着(ウォッシャブル・ビキニ)”を作ったこともあるのだという。ヒットこそしなかったものの、誰もやっていないことにトライするのは本当に楽しかったと、嬉しそうに話される江澤社長。その笑顔が印象的だった。

### Editor’s Memo

◆ウォッシャブル・ビキニだけでなく、「暖めると色が変わるレザー」など、実験的な革の質感を色々と試してきたという。

◆以前は小判ものと言われる、ヤギ、羊革がメインだった。最近は大手老舗メゾンが原皮から押さえてしまい通常の供給が難しく、ヨーロッパ産の羊革の加工が激減しているとのこと。




**株式会社エセカ**
〒131-0042
東京都 墨田区 東墨田 3-18-6

TEL.03-3613-8851
FAX.03-3613-8854

お客さまへ　ESEKA CO.,LTD.

当社は哺乳類の革の染色・塗装を行っております。革を乾燥させる工程は、なめしの次に重要なプロセスといえます。天井に掛けた革は、ほぼ３日間かけて狙った質感になるまでゆっくり乾燥させて仕上げます。丁寧な手仕事を心がけ、こだわりの素材をご提供いたします。お客様のご要望にお応えできるよう日々努力、ぜひご相談ください。

**取扱素材・加工一覧　自社内で可能■　連携工場で対応◢**

■ 豚革　■ 牛革　■ ゴード 山羊　■ シープ 羊
□ タンニン鞣し　□ 混合鞣し　□ クロム鞣し　□ ホワイト鞣し　□ エコレザー認定可

**下　地**
■ オリジナル下地対応　最小ロット5～10ｋｇくらいから　■ サンプル製作可
■ 他社から手配可能 …… ■ スエード …… ■ スエード以外　豚・牛革・ゴード・シープ
□ 下地の在庫あり …… □ スエード１色

**仕上げ方法**
■ サンプル製作可　最小ロット　１枚から
■ 顔料　■ 染料　■ 素上げ　□ 抗菌加工　■ アンチック　■ シュリンク
□ しぼり染　□ 収縮　■ 手塗り　■ 撥水加工　■ クラック　■ プルアップ
■ パール加工　■ オイル　■ ウォッシャブル

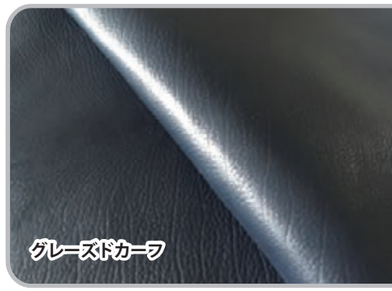
**後加工**
■ 柔軟仕上げ　■ グレージング　◢ フィルム加工　◢ 箔加工　◢ 型押し　◢ 漉き
◢ 縮絨加工　◢ パンチング　◢ 転写プリント　□ シルク印刷　□ カッティング
□ ３Ｄ加工　□ プリーツ　◢ 吟スリ加工　◢ 計量　◢ インクジェットプリント

**注目素材**

牛バット判ヌメのソフト仕上げです。軽くシボを出しやさしい手触りが特色です。

ヌメ山羊のパール仕上げです。ボリューミーな質感が特色です。

ヌメ山羊のグレージング仕上げ後、手もみ加工をして硬すぎず柔らかすぎない風合いです。




仔牛のグレージング仕上げ後、手もみ加工をして独特な風合いに仕上げました。

TOKYO LEATHER PIGSKIN 2020

# 有限会社兼子皮革染色工場

## クライアントの『色のニーズ』に応え続ける“染色の巧集団”

取締役会長
兼子 隆之
Kaneko Takayuki

(右)
兼子 洋之
Kaneko Hiroyuki

### ■依頼された色にアジャストさせる職人眼

ここでは1日10～20色、年間で1,000色もの色を染めている、レザーにおける“染めの匠集団”。サンプルで持ち込まれた革に対する、再現性・正確性は業界でも高い信頼を誇っている。革の仕上がりを見る際には“色評価用蛍光灯”を二種類用意して、微妙な職人眼で色彩を見極めているとのこと。

染める材料は主にピッグレザーを中心とし、シープ、ゴートなどとくに小判ものを得意とする。特に婦人靴向けの甲革が多いが、最近では財布やパスケースといった革小物が増えてきたという。

「今までは希望の色に染めることが仕事でしたが、最近では問屋さんからのリクエストで一加工の手間をかけることが増えてきました。ヒートシュリンクやグレージング加工、縮絨加工などは弊社でも得意です。」と会長の兼子隆之さんは話す。

### ■技術力を継承する若手世代

他にも最近増えているのが、海外から輸入した革の色がブレているので、修正してほしいというオーダー。よく見たら芯通しされていないなど、すでに仕上げが終わっているが、製品になってからの加工のリクエストも少なくない。

「難しいケースも多いですね。どちらかで噂を聞きつけて『ここならやってくれると聞いたので』と言われると、技術力を頼ってきてくれたのかと思い有難いです。ただ工業製品ではないので、思っている色に染まらないことも少なくないです。そんな時には『どうかこの色に染まって下さい』と祈るような気持ちのときもありますよ」と兼子会長。

現在の兼子優介社長は４代目。2007年に入った次男の兼子洋之さんは、タンナーの修行としてバルセロナでの仕事経験も持つプロフェッショナル。現在は若手世代が、培ってきた先人たちの高い技術を継承していくことに情熱を注いでいる。「染色」の深淵な世界に、新しいアイデアが重なっていくと思うと今後が楽しみである。

### Editor’s Memo

◆最近は少なくなった、瑪瑙(メノウ)やガラス棒で革をこすって磨き上げる“グレージング加工”も得意

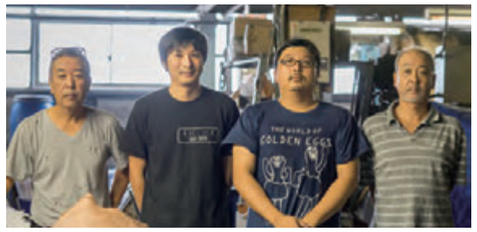
◆同じ黒でも「青みの黒」「赤みの黒」など微妙なニュアンスまでも再現する技術力

◆染色は一旦染めると薄く戻せない。薄めに調合して少しづつ濃くするというプロセスが重要

## 有限会社兼子皮革染色工場

〒131-0042　東京都墨田区東墨田 3-14-25

TEL.03-3612-3710
FAX.03-3612-3665
hkaneko25@gmail.com



左から
取締役会長
兼子隆之　Kaneko Takayuki
兼子洋之　Kaneko Hiroyuki
代表取締役社長
兼子優介　Kaneko Yuusuke
取締役専務
兼子拡二　Kaneko Kouji

お客さまへ　KANEKO HIKAKU SENSYOKU KOJYO CO.,LTD.

当社はピッグスキンを主力にキップ・ゴード・バッファロー等の革も製造し、バッグ・ベルト・袋物・衣料・小物向けに提供しています。
ピッグスキンにおいては経験豊かな技術でボリュームあるタイプから薄いタイプまで、特長を活かした価値ある新素材を開発し製造しております。
定番素材は在庫で対応、個別のご要望に対応した受注生産も行っています。

### 取扱素材・加工一覧　自社内で可能■　連携工場で対応◢

■ 豚革　■ 牛革　■ ゴード(山羊)　■ シープ(羊)
□ タンニン鞣し　■ 混合鞣し　■ クロム鞣し　□ ホワイト鞣し　□ エコレザー認定可

**下　地**
■ オリジナル下地対応　最小ロット３０枚くらいから　■ サンプル製作可
□ 他社から手配可能 …… □ スエード …… □
□ 下地の在庫あり …… □ スエード　色 小売可 …… □

**仕上げ方法**
■ サンプル製作可　最小ロット ３０枚くらいから
■ 顔料　■ 染料　■ 素上げ　■ 抗菌加工　■ アンチック　■ シュリンク
□ しぼり染　■ 収縮　□ 手塗り　■ 撥水加工　■ クラック　■ プルアップ
■ パール加工　■ オイル　□ ウォッシャブル

**後加工**
□ 柔軟仕上げ　■ グレージング　□ フィルム加工　□ 箔加工　□ 型押し　□ 漉き
■ 縮絨加工　□ パンチング　□ 転写プリント　□ シルク印刷　□ カッティング
□ 3D加工　□ プリーツ　□ 吟スリ加工　□ 計量　□ インクジェットプリント

## 注目素材

革に水を含ませた後、高温にセットしたドラムでミーリングを行い、独特のシボを持つ革に仕上げました。

アニリン染料革にカゼインを塗布した後、ガラス玉で磨き、高級感のある艶を作りました。

タンニンなめしのピッグスキンを、染料とカゼインで仕上げグレージングを掛けて、ワックスをコーティングしています。

タンニンなめしのピッグレザーを染料で手染めして、カゼインとグレージングで仕上げました。

TOKYO LEATHER PIGSKIN 2020

# 墨田革漉工業株式会社

## 独自の技術、立体感の表現で、デザイナーの創作意欲を刺激

代表取締役社長
佐藤 泰二（左）
Taiji Sato

顧 問
佐藤 功
Isao Sato

代表取締役会長
佐藤 元治（右）
Motoharu Sato

### ■多様な加工と高い技術力を誇る

日本における革漉の元祖、墨田革漉。各種加工のエキスパートとして知られ、社名の通り革を漉く（厚さを調整する）業務のリーディングカンパニーだ。型押し、デジタルパンチング、プリーツ、スペシャルドット、デジタルカッティング…と、さまざまな加工機がそろう。

最新鋭３Ｄ加工も導入。革に模様を施した独自の立体感の表現が可能となった。同社は東京ピッグスキンの加工が多数を占めている。ナイフカットは、革に切り込みを斜めに入れて、模様をつけ、切り目の部分を起こすことによる表面効果が秀逸。先端技術の粋を集めた加工ながら、ナチュラルでプリミティブ。さらにメタリック加工をプラスすると表情がガラリと変化。クリエイターとのコラボにより製品化され、好評を得た。

アニマルライツ（動物の権利）が重視され、ファーフリーが広がるなか、フェイクファーではない、ナチュラルな代替素材が求められているが、ナイフカット加工は、その選択肢のひとつだ。著名なブランドでも採用された。次世代のファッションレザー素材として期待が高まる。

### ■クリエイターとのコラボで新素材を開発

国内外の人気ブランドの財布、革小物でも採用。加工、表面感が特徴的なレザーがシンプルなデザインを引き立て、製品の大きな魅力となる。

ショールームは、技術が蓄積されたデータベース、ライブラリー、ミュージアムがひとつになったような空間。これまでつくられたレザーは数え切れないほど。

「午前中から夕方までご覧になっていた方もいらっしゃいました。革好きにはたまらないと思います。うちの技術を生かして、加工、素材を掛け合わせて、新しいファッション製品、レザートレンドをつくっていただけたら、こんなにうれしいことはありません」と顧問の佐藤功さん。

例えば、ヒョウ柄だけでも、リアルなプリントから手描タッチまでバリエーション豊富。多数の型があり、加工と技術の組合せで、新鮮な素材感を引き出す。可塑性に優れる豚革との相性も抜群だ。そのポテンシャルは計り知れない。

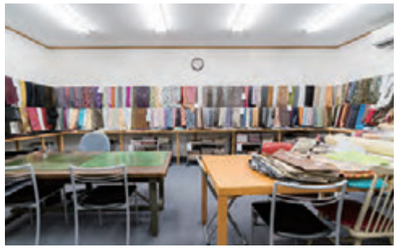
佐藤元治会長、佐藤泰二社長をはじめ、スタッフの親身な対応と、高い技術力により、モノづくりをサポートしてくれる、あたたかなファミリーのようなファクトリーだ。

### Editor's Memo

◆皮革面積計量の領域でもパイオニア的存在

◆多くの新進クリエイターやデザイナー達も同社の素材使用し好評

◆独自の立体感はバッグ、シューズだけでなく財布、革小物の個性を引き出す



## 墨田革漉工業株式会社

〒131-0041 東京都墨田区八広 4-43-4
TEL. 03-3613-2131
FAX. 03-3619-5380
skltd@nifty.com
http://www.sumidakawasuki.com/

SUMIDA KAWASUKI CO.,LTD.

**お客さまへ**

世界の素材情報を元に『メイドイン東京のピッグスキン』をはじめ、各種素材に流行最先端の加工をいたします。弊社は、加工のスペシャリストとして型押、パンチング、プリーツ、スペシャルドット、箔貼、インクジェットプリント、カッティング加工等に対応しております。
皮革面積計量も承ります。特に革漉加工の元祖として薄漉き技術は、他の追従を許しません。貴社の新商品開発の要望に応じて、革に多彩な革の表情作りをお手伝い致します。お気軽にご相談下さい。

**持ち込みいただいた素材で対応いたします。ご相談ください※革以外も可能です**

**取扱素材・加工一覧　自社内で可能■　連携工場で対応◢**

■ 豚革　■ 牛革　■ ゴード（山羊）　■ シープ（羊）　■ コードバン、ワニ、ヘビ
■ タンニン鞣し　■ 混合鞣し　■ クロム鞣し　■ ホワイト鞣し　■ エコレザー認定可

**下　地**

□ オリジナル下地対応　最小ロット　枚くらいから　□ サンプル製作可
■ 下地を手配可能 …… ■ スエード …… ■ ライニング
■ 下地の在庫あり …… ■ スエード　８０色　小売可

**仕上げ方法**

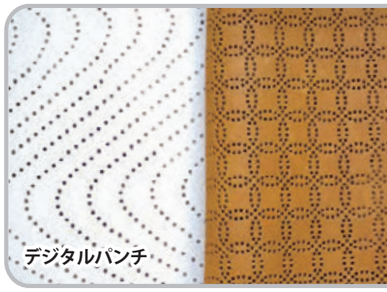
◢ サンプル製作可　最小ロット ５枚くらいから
◢ 顔料　◢ 染料　□ 素上げ　□ 抗菌加工　◢ アンチック　◢ シュリンク
□ しぼり染　□ 収縮　◢ 手塗り　◢ 撥水加工　□ クラック　□ プルアップ
◢ パール加工　□ オイル　□ ウォッシャブル

**後加工**

□ 柔軟仕上げ　□ グレージング　■ フィルム加工　■ 箔加工　■ 型押し　■ 漉き
□ 縮絨加工　■ パンチング　■ 転写プリント　◢ シルク印刷　■ カッティング
■ 3D加工　■ プリーツ　■ 吟スリ加工　■ 計量　■ インクジェットプリント

## 注目素材

革の表面に金銀様々の箔を貼りメタリック調に仕上げたり様々なフィルムをつけて柄を表現する加工です。




驚くようなオリジナルデザインができるようになりました。あなたのブランドを革にパンチします。

写真やイラスト、プリント柄など、お客様が用意したデジタルデータを1枚から革や合成皮革、不織布の上にプリントします。

革にしわや折り目をつける加工です。デザインにより 0.3〜0.6mmの漉き加工を事前に施します。

TOKYO LEATHER PIGSKIN 2020

# 株式会社墨田キール

## 最新モードからサブカルチャーまで 多彩なトレンド＆売れ筋レザーを発信！

代表取締役
長谷川 憲司
Kenji Hasegawa

### ■国内向けに最適化した提案をクイックに対応

トレンドの役割が変化しつつあるなかでも、ヨーロッパから発信されるレザートレンドの信頼性は揺らぐことがない。

墨田キールでは、インスタグラムやオンラインの情報だけに頼ることなく、現在でも、イタリア・ミラノで行われる国際皮革展示会「LINEAPELLE（リネアペッレ）」をはじめ、国際見本市には欠かさず出張している。

「これまで、若いスタッフとともに出かけ、会期中、現地をくまなく見てまわり、最新の潮流をつかんできました。足で稼いだリアルなトレンドをもとに日本国内マーケットに合わせてアレンジしています。小さめバッグ、コンパクト財布、スマートフォン関連小物などのアイテム向けに柄のリピートやサイズなどを最適化。取り都合がよいとご好評いただいています」と代表取締役の長谷川憲司さん。

このたび、ファクトリーをリニューアル。設備だけでなくバッグヤードをデータで管理。多様なオファーにもクイックに対応できる体制が整った。

### ■猫、鉄道・・・細分化するニーズを確かな技術力で応える

年間100種以上の新作を発表する墨田キール。箔やフィルムの色のバリエーションが豊富で、フィルム×下地×箔の組合せは無限に広がる。最新のオンデマンドプリントや、革と異素材のハイブリッド感覚の加工により、新しい付加価値を生み出す。

「柄はパイソンの勢いが止まりません。ご要望に合わせ微調整を加え、カスタマイズできるのが弊社の強みです。チェック柄の引き合いも増えています」（長谷川社長）。

このほかビクトリア調の柄や猫モチーフなど守備範囲の広さに驚かされる。革製品でも猫ブームが波及。同社の高い技術力により、甘すぎず、大人世代にも支持されるクオリティで仕上げる。

人気イベント「浅草エーラウンド」では、東京メトロとのコラボレーションが好評だ。レザークラフトキット「革でつくる銀座線」に協力。豚ヌメ革にインクジェットプリントを施し、銀座線開業当初の1000形車両デザインを復刻。メディアやネットで話題となり、会場では準備数が即完売状態となったそうだ。

### Editor's Memo

- ◆シルクスクリーン、染色を中心にインクジェット、転写プリント、箔押しなどを駆使した複雑な加工、上質で特殊な皮革素材を手がける
- ◆2020年春夏シーズンに注目されるビクトリア調の柄は、ステンドグラスのような個性的なニュアンスが目をひく
- ◆長男の長谷川健太さんは、大学で化学を専攻。最新の知識、若い世代の感性でサポートする

**株式会社 墨田キール**

〒131-0041 東京都墨田区八広 4-9-2

TEL. 03-3617-8551
FAX. 03-3617-8553
http://sumidacuir.co.jp/

SUMIDA CUIR CO.,LTD.

**お客さまへ**

ファッション性を重視した革をお探しならまずは弊社にご相談ください。
各種加工（インクジェットプリント、転写フィルム、箔押し、型押し、染色、ロールプリント、頭はり、汚し、はたき落とし等）により、お客様のさまざまなご要望にお応えします。
また、異素材（フェイクファーやレース等）の張り合わせも承ります。 国内生産のピッグスキンを始め、その他の革（羊、ヤギ、キップ等）にも対応しております。貴社だけのオリジナルレザーをご提供いたします。

**取扱素材・加工一覧　自社内で可能■　連携工場で対応◢**

■ 豚革　■ 牛革　■ ゴード 山羊　■ シープ 羊
■ タンニン鞣し　■ 混合鞣し　■ クロム鞣し　■ ホワイト鞣し　■ エコレザー認定可

**下　地**

■ オリジナル下地対応　最小ロット３０枚くらいから　□ サンプル製作可
■ 下地を手配可能 …… ■ スエード …… ■ 豚タンニン鞣し、キップ、キット、シープ
■ 下地の在庫あり …… ■ スエード　小売可 …… ■ 豚タンニン鞣し

**仕上げ方法**

■ サンプル製作可　最小ロット　１枚から
■ 顔料　■ 染料　■ 素上げ　◢ 抗菌加工　■ アンチック　□ シュリンク
◢ しぼり染　□ 収縮　■ 手塗り　■ 撥水加工　■ クラック　■ プルアップ
■ パール加工　■ オイル　◢ ウォッシャブル

**後加工**

◢ 柔軟仕上げ　■ グレージング　■ フィルム加工　■ 箔加工　■ 型押し　◢ 漉き
◢ 縮絨加工　◢ パンチング　■ 転写プリント　◢ シルク印刷　◢ カッティング
◢ 3D加工　◢ プリーツ　◢ 吟スリ加工　■ 計量　■ インクジェットプリント

## 注目素材

エイをモチーフにして光沢で高級感を演出、角度によって表情が変わります。

下地の革にメタリックな箔を施し、ランダムなレオパード柄をプリントしました。

ニシキヘビの箔を貼り、さらに鱗のフィルムを施し、立体感のある表情を作りました。

Pスエードにグレンチェックをプリント、さらにラメのラインを入れて新鮮なデザインに仕立てました。

# 有限会社ティー・エム・ワイズ

代表取締役
渡邊 守夫
Morio Watanabe

## “ヒューマン・フレンドリー”な革づくり。新ジャンルへの積極的な挑戦

### ■「靴の甲革」や「防水レザー」などの新ジャンルを打ち出す

ティーエムワイズでは主に、風合いや色出しにこだわったシープのスエード革が充実している。カラーは全部で100色以上。若手が活躍する工房では、フィルムや箔貼り、塗装、オイル入れ、ワックス、パール加工など、様々な革の仕上げ加工を得意としている。

「スエード素材だけだと春夏シーズンには弱くなってしまうので、オールシーズン可能な新しいフィルム加工や、靴の甲革といった新カテゴリーに着手しています。特に靴の甲革は、社内の第３の柱として育てていきたい。そのために、甲革を加工する機械も導入しました」と代表取締役の渡邊守夫さんは話す。

また今後更に力を入れていこうとしているのが、水をはじく「防水革」や「アンチバクテリア革」、「クロムフリー」といった、機能的にも新しい切り口の製品だ。時代のニーズを着実にとらえ、“人に対してフレンドリーであること”を特に意識しているという。

### ■墨田のタンナーが培った技術力を継承するために

「海外から輸入している原皮は、育った環境や気候でも違うので、それらを一定のクオリティに仕上げることも繊細な技術力が必要です。毎日が勉強であり、常に終着駅はありません。最近は、廃業されるタンナーさんも多いと聞きますが、一軒がなくなったとしてもそれと同じ技術の再現はもう不可能。なので、ここ墨田で培われた技術は何とか残さないといけないと、特に実感しています。他社との技術提携なども前向きに考えています」と渡邊社長。

実は来年２月には、ティーエムワイズは近隣の新しい工場へと移転する。大判の牛の半裁を扱ったり、靴用・小物・袋物の革などに対応する新しい機械を導入したこともあり、工房が手狭になってきたという。新工場でも、新たな素材開発を進めて行きたいとのこと。

年２回の伊リネアペレ展示会には必ず社員を派遣し、レザーのトレンド情報の仕入れは欠かさない。若い世代のチャレンジを活かしながら、海外へと製品を輸出することも視野に入れる。
「常に先行しないといけない」という渡邊社長の情熱が伝わってくる。

### Editor’s Memo

- ◆墨田区内の新工場の建築は20年ぶり。オープンの際は、工場の見学会等も企画したいとのこと
- ◆原皮はパキスタンやインドから“クラスト”状のものを年間契約でリーズナブルに仕入れられるのが強み
- ◆入社した義理の息子さんも4年目。日々革づくりを楽しんでいる

## 有限会社T.M.Y’s

〒131-0042　東京都墨田区東墨田 3-14-3

TEL.03-5630-8189
FAX.03-3612-5111
tmy_s3@yahoo.co.jp

**お客さまへ**　T.M.Y’s CO.,LTD.

私達の会社は、主にシープのスエード革を染色して販売しています。
常時100色ほどの在庫を揃えて、1枚からでもお客様に提供できるように日々努力しています。
最近では、これらのシープスエードに、フィルムや箔を貼ったり、型押しをするなどデザイン性を高めた革を制作しています。さらに、エナメル加工に、シュリンクやパールを加えたり、絞って革の表情を変えるなど、個性的で注目される革も開発しています。

### 取扱素材・加工一覧　自社内で可能■　連携工場で対応◢

- ☐ 豚革　☐ 牛革　■ ゴード 山羊　■ シープ 羊
- ■ タンニン鞣し　■ 混合鞣し　■ クロム鞣し　☐ ホワイト鞣し　☐ エコレザー認定可

**下　地**

- ■ オリジナル下地対応　最小ロット１０枚くらいから　■ サンプル製作可
- ■ 他社から手配可能 …… ■ スエード …… ■ スエード以外もご相談ください
- ■ 下地の在庫あり …… ■ スエード ８０色 小売可 …… ■ キット、シープ、バッファロー

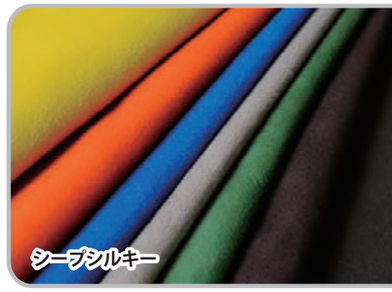
**仕上げ方法**

- ■ サンプル製作可　最小ロット １枚から
- ◢ 顔料　◢ 染料　◢ 素上げ　☐ 抗菌加工　◢ アンチック　◢ シュリンク
- ◢ しぼり染　☐ 収縮　◢ 手塗り　◢ 撥水加工　◢ クラック　◢ プルアップ
- ◢ パール加工　◢ オイル　☐ ウォッシャブル

**後加工**

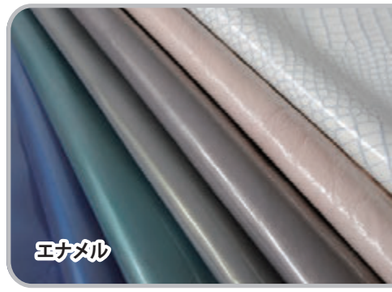
- ◢ 柔軟仕上げ　☐ グレージング　◢ フィルム加工　◢ 箔加工　☐ 型押し　☐ 漉き
- ☐ 縮絨加工　☐ パンチング　☐ 転写プリント　☐ シルク印刷　☐ カッティング
- ☐ 3D加工　☐ プリーツ　☐ 吟スリ加工　☐ 計量　☐ インクジェットプリント

## 注目素材




常時 100 色以上を在庫して 1 枚からでも対応できます。撥水加工を加えることも可能。

ゴードスエードにフィルム、箔を重ね、型押によって表情を出しています。




表面革用シープ、表面革用ゴードにパールを施しエナメルで仕上げ、絞り加工を加えています。

表革面にパラフィンワックスを乗せ、高温のアイロンを掛けることで、ワックスが革に浸透し、割れるように見せています。

TOKYO LEATHER PIGSKIN 2020

# 有限会社ティグレ

## ビッグメゾンからのオファーにも応える、皮革開発力の深化・進化

代表取締役
加藤　文夫
Fumio Katoh

### ■革素材から製品まで一貫生産

ティグレは付加価値性の高いレザーを数多く手がけ、革づくりから製品まで一貫して生産する。

製品はこれまで百貨店やセレクトショップでのイベント、無印良品での取扱いなど着実に幅を広げてきた。

さらにニューブランドTOKYO LEATHER FACTORYを立ち上げた。代々引き継がれた技術や経験を活かし、現代らしい新たな革の魅力を伝えていく。『すみだモダン』ブランドにも認証されている。

特長である「製品染め」は、植物タンニン革を用いたバッグを縫製後、製品全体をドラムで染めるので、ステッチや裏地にまで染料が入り込む。金具は使い込んだ味わいに。熟練の皮革職人が、オイルで磨き、手もみでしなやかさを加える。

ウォッシャブルレザーのバッグはロングヒット商品として成長。市販の中性洗剤で洗濯することで、コーヒー、しょう油などの食品汚れも落ちやすい。洗うほどに味わいが増し、使うほどに馴染んでいくことで自分だけのバッグに育ち、ファッション好きなユーザーにも評価されている。

革エプロンやカレンダーなど新アイテムにもトライし、ライフスタイル提案を目指している。

### ■精緻な技術力、旺盛な探求心で ロングセラー革も

「販売経験を重ねるうち、製品メーカーとしての発想ができるようになり、革のつくり方が変わってきました。お客さまからお聞きした使い勝手や好みなどの声は弊社の財産です。OEMや別注、素材開発など多様なご要望にも引き続き対応強化します。国内で自給できる原料である豚を生かし、特徴的な革をつくっていきたい」と代表取締役の加藤文夫さん。

皮革素材にはロングセラーも多い。塩縮加工で繊細な花々を表現した「スモールフラワー」は、20年以上オーダーが絶えない。シューズ、バッグなど、多様な製品に華やぎを添え続ける。フェイクキルティング加工は完成度の高さが評判となり、ビッグメゾンからのオーダーも実現した。和紙のようなニュアンスの「マーキュリー」は軽さに驚く。立体的なモチーフ、色柄も多彩で現代アートのよう。そのクオリティに精緻な技術力、旺盛な探求心が宿る。

タンナーとしての機能とともに、製品や皮革素材を購入できるギャラリーのようなショールームをオープン。テレビ、雑誌などでも取り上げられ話題になっている。

### Editor's Memo

- ◆製品部門ではバッグだけでなく、財布も販売し、好評
- ◆テレビ番組、ナチュラルファッション誌などで紹介され、女性ファンが多い
- ◆オンライン工場見学ができる動画を自社サイトで公開

## 有限会社ティグレ

〒131-0043
東京都墨田区立花 4-8-17 鈴梅ビル 1 階

TEL.03-3617-2997
FAX.03-3617-2998
tigreleather@wind.ocn.ne.jp
http://www.tigre-leather.com/

TIGRE CO.,LTD.

**お客さまへ**

当社はピッグスキンを主力にキップ・ゴード・バッファロー等の革も製造し、バッグ・ベルト・袋物・衣料・小物向けに提供しています。

ピッグスキンにおいては経験豊かな技術でボリュームあるタイプから薄いタイプまで、特長を活かした価値ある新素材を開発し製造しております。定番素材は在庫で対応、個別のご要望に対応した受注生産も行っています。

**取扱素材・加工一覧　自社内で可能■　連携工場で対応◢**

■ 豚革　■ 牛革　■ ゴード 山羊　□ シープ 羊
■ タンニン鞣し　□ 混合鞣し　■ クロム鞣し　□ ホワイト鞣し　□ エコレザー認定可

**下　地**

■ オリジナル下地対応　最小ロット１０枚くらいから　■ サンプル製作可
■ 他社から手配可能 …… ■ スエード …… ■ クリアスエード
■ 下地の在庫あり …… ■ スエード１色　小売可 …… ■ 吟付きスムース　小売可

**仕上げ方法**

■ サンプル製作可　最小ロット　１枚から
■ 顔料　■ 染料　■ 素上げ　□ 抗菌加工　■ アンチック　■ シュリンク
■ しぼり染　■ 収縮　■ 手塗り　■ 撥水加工　■ クラック　■ プルアップ
■ パール加工　■ オイル　■ ウォッシャブル

**後加工**

◢ 柔軟仕上げ　◢ グレージング　◢ フィルム加工　◢ 箔加工　◢ 型押し　□ 漉き
◢ 縮絨加工　□ パンチング　□ 転写プリント　◢ シルク印刷　□ カッティング
□ 3D 加工　◢ プリーツ　◢ 吟スリ加工　□ 計量　□ インクジェットプリント

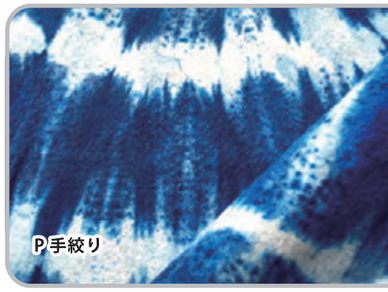
**注目素材**

Pオースト

豚革にオーストリッチの型押し、豚シボと本物のオーストリッチが相性良く、リアルな仕上がりです。

Pマーキュリー

豚革に手作業でシワ加工を施し、洗いざらしの雰囲気を醸し出し、自然なシワ感を表現しています。



P手絞り

豚革に絞り柄模様を施し染色槽の中で、アンチック効果を出しながら染めていきます。

Pスモールフラワー

豚革に花柄模様をシュリンク加工したもので、型押しとは違う技法で立体感を演出しました。

TOKYO LEATHER PIGSKIN 2020

# クリエイティブかつソーシャルな革づくりを東京から発信

# 長坂染革株式会社

代表取締役
長坂 守康
Moriyasu Nagasaka

## ■革新と革本来の魅力を追求し、東京レザーをアップデート

ものづくりは時代を映す鏡。30年続いた平成にピリオドが告げられ、次の時代へと移る。そんな空気を感じ、呼吸するように、しなやかに進化し続ける長坂染革。染色、オイル、ワックス、こがし加工…と技術を駆使し、革本来の魅力を探る。ナチュラル感、ハンドメイド感、エイジングほか革好きユーザーの嗜好を把握する一方で、企画担当者の意向も柔軟に反映。ベテランクリエイターはもちろん、ビジネスパーソンからも頼りにされている。

重厚感のあるヌメ革から、繊細なインクジェットプリントまで守備範囲は広いが、豚革の魅力をよりよく引き出すことを心掛けている。

「ひとつひとつのご依頼に丁寧にお応えできるよう努力しています。地道にやっているなかで『また頼みたい』と言っていただけるのがうれしいです。こうした積み重ねで東京の革づくりに携わる一員として、できる限り次の世代へつなげていきたい」と代表取締役の長坂守康さんは語る。

長坂社長は建築関連の仕事から転身。祖父から続く家業を継いだ。3代目社長自ら現場で手を動かし、若いつくり手、女性スタッフたちを牽引。瑞々しい感性と円滑なチームワークで東京レザーをアップデートする。

## ■革・もの・ひとをつなぐクラフトマンシップ

「乗用車内装の試作や、ステーショナリー、プロダクトなど、普段関わることがない案件は大変刺激になります。今後もいろいろなジャンルに挑戦していきたいです」

近年、「クリーマ」「ミンネ」といったハンドメイドマーケットの需要拡大に合わせ、個人で活動するクリエイターが増加。長坂染革では小ロットの注文にも受入れ体制を整え、培ってきた技術力と経験で対応している。

「工場見学についての問合わせも増えているので、業務に支障がない範囲内でご希望に添えるようにしています。これまで有力メーカー、セレクトショップ、百貨店ほか、たくさんの関係者にご覧いただきました。人工皮革と皮革の違いをはじめ、基礎知識を学ぶ機会がない販売スタッフの皆さんにレザーの魅力をお伝えできたらと思います。皮革業界のためになりますし、社会貢献の一助になればいいなと。弊社は浅草、墨田エリアから離れているのですが『浅草エーラウンド』関連企画にもご協力させていただいています。」

皮革を起点に、ものづくりとひとをつなぐ、同社のクラフトマンシップ。長坂社長をはじめ各スタッフの胸にそっと灯り、ジャパンレザーの未来を照らす。

### Editor's Memo

- ◆牛革、ゴートなどのタンニンなめしも対応
- ◆美術大学を卒業した若いスタッフが在籍し、感度が高い革づくりが秀逸
- ◆イベント用に皮革小物の販売（不定期）も行う

## 長坂染革株式会社


〒124-0006　東京都葛飾区堀切 1-34-8

TEL. 03-3691-1161
FAX. 03-3691-1512
nagasaka_senkaku@yahoo.co.jp

お客さまへ　NAGASAKA SENKAU CO.,LTD.

弊社は自社工場で染色・加工の仕上げして、また販売をする会社です。
ピッグスキンをはじめ牛革、ゴート等のタンニン鞣し素材を中心に仕上げをしています。革らしさや風合いを最も多く併せ持つヌメ革の素材感を大切に、手作業により革の魅力を十分に引き出す商品創りを心がけています。
ご相談により個々に対応した独自性のある素材をご提案します。またインクジェット印刷やフィルム加工もできますので複合的でより個性的な素材を創造することが可能です。

### 取扱素材・加工一覧　自社内で可能■　連携工場で対応◢

■ 豚革　■ 牛革　■ ゴート（山羊）　□ シープ（羊）
■ タンニン鞣し　□ 混合鞣し　□ クロム鞣し　■ ホワイト鞣し　□ エコレザー認定可

**下地**

□ オリジナル下地対応　最小ロット　枚くらいから　□ サンプル製作可
■ 下地を手配可能 …… ■ スエード …… ■ 豚吟付き
■ 下地の在庫あり …… ■ 牛革、ゴード　小売可

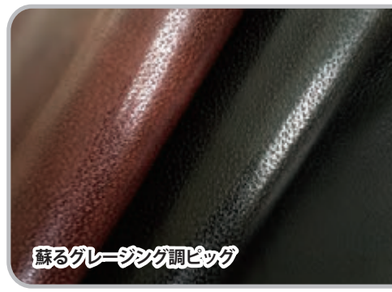
**仕上げ方法**

■ サンプル製作可　最小ロット１０枚くらいから
■ 顔料　■ 染料　■ 素上げ　□ 抗菌加工　■ アンチック　■ シュリンク
□ しぼり染　■ 収縮　■ 手塗り　□ 撥水加工　■ クラック　■ プルアップ
■ パール加工　■ オイル　□ ウォッシャブル

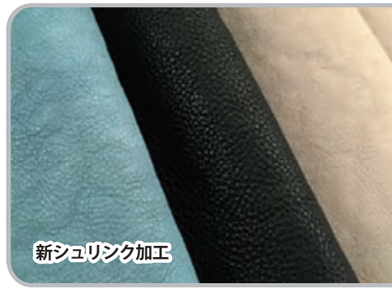
**後加工**

■ 柔軟仕上げ　■ グレージング　◢ フィルム加工　■ 箔加工　◢ 型押し　◢ 漉き
□ 縮絨加工　◢ パンチング　◢ 転写プリント　◢ シルク印刷　◢ カッティング
□ 3D加工　◢ プリーツ　◢ 吟スリ加工　■ 計量　■ インクジェットプリント

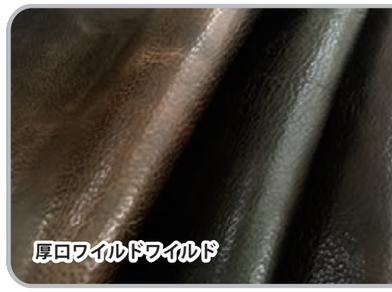
## 注目素材



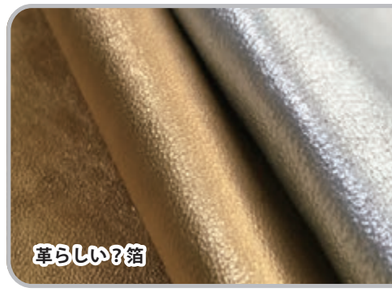

いわゆる昔ながら思い描くヌメピッグの光沢を現在版にアレンジし製作しました。重厚なトラッドな雰囲気を醸し出します。バッチリ決まりますよ。




単なるシュリンクと思うなかれ。独自製法でしまりのある肌目が詰まっているんです。この革をもとに仕上げのバリエーションが広がります。




肉厚の生地を引き締めて吟面をしめ、そこへ弊社ブレンドのワックスを手作業で塗り込んでいます。独特のツヤ感があります。




箔貼りはしてるよ。でもそれだけじゃ終わらせません。革らしい表情に向かってゴー！

TOKYO LEATHER PIGSKIN 2020

# 株式会社ニシノレザー

代表取締役
西野 佳伸
Yoshinobu Nishino

## 斬新なアイディア、たゆまぬ探求心で、ピッグスキンの未来を創造

### ■革づくりを徹底追求 まっすぐな企業姿勢に信頼が寄せられる

革を乾燥する際の「板張り」という昔ながらの手法を守り続けるニシノレザー。現在、東京都内のタンナーでは同社のみとなった。

一枚一枚の革を板の上に張り、釘で固定。通常よりも素材の表面が平板になり品質が向上するのだそう。「本社の2階に風が通り抜ける乾燥スペースで時間をかけて仕上げています。時間も手間もかかってしまうのですが、いい革をつくってお届けしたい、その一心で続けています」と代表取締役の西野佳伸さん。また加工される前の「下地」と呼ばれる皮革素材の製造で地域のものづくりを支えている。

そんな誠実さ、クオリティの高さは国内外で高く評価され、近年では、同社の皮革素材を採用している有名メーカー公式サイトが取材、紹介し、幅広い世代のレザーファンから注目を集めた。

同社は工場見学を行っていないが、東墨田エリアの地場産業である、ピッグスキンをはじめとした皮革産業の情報発信に協力。東京都立皮革技術センター恒例の施設公開と連動し、特別に見学企画を試みるべく計画が進む。

### ■主役級の新レザー、完成間近！ 付加価値性が高いピッグスキンは世界レベル

ヨーロッパでは食文化の違いから生産が少なく、ピッグスキンは希少な皮革素材と認知されているそうだ。

「しかし、日本国内ではピッグスキンというと、シューズのライニング（靴の内側・裏張りとよばれる部分）用の素材、という固定概念をおもちのかたが多いのが残念でなりません。付加価値性が高く、存在感のある皮革素材をつくって、認識を変えるきっかけになれば」（西野社長）。

タンニン鞣しのヌメ革をベースに、自社で開発したノンクロームレザーでは、黄変しにくい「スーパーホワイト」を実現。「白いレザーは売りにくい、使いにくい」という常識を打ち破る。海外ブランドでも採用された。

試行錯誤を経て、つくり上げた新素材が完成間近。生皮（きがわ／現在の鞣しの定義としての、鞣し剤を用いた鞣しを行わない皮。半透明の皮）を応用し、色づけにトライ。これまでにない滑らかさ、トレンドの透け感、エキゾチックレザーのような特別感を表現する。展示会でのお披露目に向け、最終段階のブラッシュアップに余念がない。

### Editor's Memo

◆試作中の生皮・進化バーションはインテリア関連製品などにも適しているそうなので、今後の正式発表にご期待を！

◆整理整頓の徹底は、業界随一。ファクトリーというより、ラボラトリーのような印象。同社の企業姿勢とリンクしている

株式会社ニシノレザー

〒131-0042　東京都墨田区東墨田 3-5-3

TEL. 03-3616-4961
FAX. 03-3613-4602

お客さまへ　NISHINO LEATHER CO.,LTD.

弊社は ピッグスキンの各種スエード・植物タンニンなめし革・シューライニング・クロームフリーなめし革などを製造しています。
『なめし』『染色』『仕上げ』『後加工』の一環工程により、革の性質を活かし、風合いや厚さを調整するなど手作業ならではの各種用途に対応しています。

天然素材である「革」を真摯に受け止め、研究と開発による高品質な製品つくりをと、日々取り組んでおります。

**取扱素材・加工一覧　自社内で可能■　連携工場で対応◢**

■ 豚革　□ 牛革　□ ゴード 山羊　□ シープ 羊
■ タンニン鞣し　■ 混合鞣し　■ クロム鞣し　■ ホワイト鞣し　■ エコレザー認定可

**下　地**

■ オリジナル下地対応　最小ロット２００枚くらいから　□ サンプル製作可
□ 他社から手配可能 …… □ スエード …… □ ライニング
□ 下地の在庫あり …… □ スエード　色　小売可

**仕上げ方法**

■ サンプル製作可　最小ロット １００枚くらいから
□ 顔料　□ 染料　■ 素上げ　□ 抗菌加工　□ アンチック　□ シュリンク
□ しぼり染　□ 収縮　□ 手塗り　□ 撥水加工　□ クラック　□ プルアップ
□ パール加工　□ オイル　□ ウォッシャブル

**後加工**

□ 柔軟仕上げ　□ グレージング　□ フィルム加工　□ 箔加工　□ 型押し　□ 漉き
□ 縮絨加工　□ パンチング　□ 転写プリント　□ シルク印刷　□ カッティング
□ 3D加工　□ プリーツ　□ 吟スリ加工　□ 計量　□ インクジェットプリント

## 注目素材

スーパーホワイト（エコレザー）

これまでにない純白色のノンクローム製品です。従来よりも黄変しにくく加工しやすい仕上がりなので、最大に発色の良さを引き出せる素材です。

Pタンニン（エコレザー）

独自の製法による伝統的なタンニンなめしが特長。こちらが豚ヌメの下地となります。

ベジタン　#オリジナル（エコレザー）

植物タンニンをメインに鞣すことにより、フワッとぬくもりある素上げでナチュラル感を。下地から染色する製品や後染めする製品のどちらにも使いやすく作りました。

エコレザーバリエーション

弊社は皮を鞣すところから、下地を造っています。皮の厚さや感触など商品ロットにより応じる事も可能です。

TOKYO LEATHER PIGSKIN 2020

# 福島化学工業株式会社

## エコレザー「オルガノ」の技術力が、地域発信のものづくりまでをサポート

担当
福嶋 伸行
Nobuyuki Fukushima

### ■エシカルなものづくりに寄り添う「オルガノホワイト」

原皮の仕入れからなめし、染色、仕上げまでを、一貫してできるのが大きな強みである福島化学工業。仕入れた原皮のサイズやクオリティを、熟練した職人が１枚１枚指先で確かめながら、日々鞣し作業を行っている。三好務工場長は、「会長からは、『指先が基本なので何でも触って確認するように』と教えられました。作業時はできるだけ手袋をはめずに、指先の感覚を研ぎ澄ましています」と語る。

この工場では、クリアーなホワイトの発色が美しい「オルガノホワイト」を開発。エコレザーであるうえに、インクジェットプリントの下地としても人気が高い。傷や肌荒れが少ない原皮を選り分けるので、全体のうち一割程度しか取れない希少な素材だ。こちらの事務所にデータを送れば、インクジェットプリントまで一貫して行うことができるのも強み。

「最近ではクロムレス、ホルマリンレスの『オルガノⅡ』も完成し、エシカルなものづくりにこだわるクリエイターなどに支持されています」と福嶋伸行さんは話す。

### ■豚の生産者とのつながりが新しいものづくりを生む

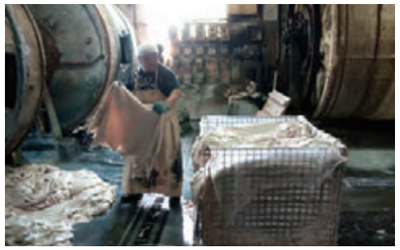
ここ最近では、原皮を仕入れるうえで、農場とのつながりも生まれてきている。関東近郊でブランド豚を飼育する養豚場から、「自社で出た豚の皮をなめしてほしい」とのオファーが届いたという。

「その養豚場のオーナーは、とりわけ旨味のある豚を、努力を惜しまず育ててきた方。地元では地産地消の一環で、その肉を“地場産ブランド豚”として売り出していますが、今回は肉だけでなく革までも一貫して活用し、地元のメーカーが縫製する“地場産のバッグ”として世に出すお手伝いをさせていただきました」と話す。福島化学工業が持つ強みと、生産者とのタッグが実現したことで、地域発信の新しいものづくりが生まれている。

現在はピッグレザーだけでなく、ホース(馬)やシープ(羊)、ディア(鹿)など、様々な動物の革にチャレンジしている福嶋さん。「これからも、一貫生産の強みと技術力を活かしたものづくりをしていきたい」と意気込みを語る。

### Editor's Memo

- ◆豚以外の動物として、いまでは希少なバッファロー(水牛)の革もなめした経験がある
- ◆百貨店などで人気上昇中の某バッグブランドは、こちらのピッグレザーがメイン
- ◆ランドセルの裏革にもピッグレザーが使われる。コードバン革のものなど高級ランドセルには不可欠



**福島化学工業株式会社**
〒131-0042　東京都墨田区東墨田 3-9-17
TEL.03-3616-0010
FAX.03-3616-0013
akio@fukushima-kagaku.co.jp
http://www.fukushima-kagaku.co.jp

**お客さまへ**　FUKUSHIMA KAGAKU KOUGYO CO.,LTD.

弊社は環境問題と人にやさしい素材作りにこだわっており、中でもエコロジーな素材を求めるお客様からは「オルガノ」シリーズが好評です。とくにオルガノホワイトは数百回の加工剤の選定、工程の改良によってインクジェット用に最適な白度の高い革になりました。現在ではオルガノシリーズでノンクロム、ノンホルマリンのオルガノⅡも完成しました。また皮革では初の『JIS規格』の抗菌防臭加工も行っています。

ジャパンクリエーションテキスタイルコンテスト3年連続入賞、2006年には特別賞を受賞し、素材開発力を高く評価していただいております。

革についてのご質問・ご相談などお気軽にお問い合わせください。

**取扱素材・加工一覧　自社内で可能■　連携工場で対応◢**

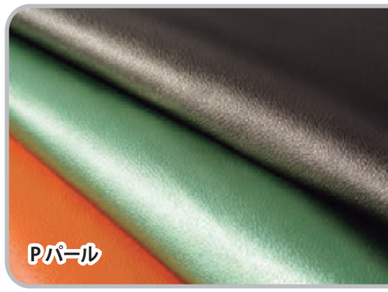
■ 豚革　□ 牛革　□ ゴード 山羊　□ シープ 羊
■ タンニン鞣し　■ 混合鞣し　■ クロム鞣し　■ ホワイト鞣し　■ エコレザー認定可

**下地**
■ オリジナル下地対応　最小ロット２０枚くらいから　■ サンプル製作可
■ 自社で手配可能 …… ■ オルガノⅡ　オルガノ
■ 下地の在庫あり …… ■ ラッカー下地　５色　小売可

**仕上げ方法**
■ サンプル製作可　最小ロット　１０枚くらいから
■ 顔料　■ 染料　■ 素上げ　■ 抗菌加工　■ アンチック　□ シュリンク
□ しぼり染　■ 収縮　□ 手塗り　■ 撥水加工　■ クラック　■ プルアップ
■ パール加工　■ オイル　■ ウォッシャブル

**後加工**
■ 柔軟仕上げ　◢ グレージング　◢ フィルム加工　◢ 箔加工　◢ 型押し　◢ 漉き
□ 縮絨加工　◢ パンチング　□ 転写プリント　□ シルク印刷　◢ カッティング
□ 3D加工　◢ プリーツ　□ 吟スリ加工　□ 計量　■ インクジェットプリント

**注目素材**

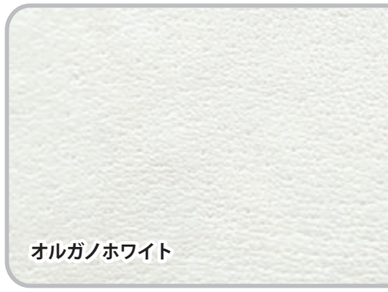


**Pパール**

パールの華やかな印象で婦人靴のライニングとして最適です。小物などにも応用できる革です。

**オイルアニリン**

植物タンニンでなめし、オイルで仕上げた透明感のある革らしい革です。



**オルガノホワイト**

クロムもホルマリンも使用していない人体と環境に配慮した白い革。柔軟性にも優れています。

**パステル**

ノンクロム、ノンホルマリン・レザー。クロムのくすみがなく発色がとても良いのが特長。カラーバリエーションも増やしています。

TOKYO LEATHER PIGSKIN 2020

# 山口産業株式会社

## 世界へと広がる「ラセッテーなめし」。ハッピーピッグプロジェクトも始動

代表取締役
山口 明宏
Akihiro Yamaguchi

### ■モンゴルへと「ラセッテーなめし」の技術協力

一般的に革は、早くソフトに仕上がる“クロム”という金属粉を使う「クロムなめし」が主ななめし方法である。だが山口産業では、先代が開発した植物タンニンを使う「ラセッテーなめし」を主軸にしている。金属を使わないため環境にも優しく、日本エコレザーの認証も取っている。

また代表取締役社長の山口明宏さんは、JICAの事業として最近モンゴルへと赴き、このラセッテーなめしの技術協力という国家プロジェクトにも参画している。モンゴルでは羊が多く消費され、なめし産業もさかんだが、ここ数年は排水などの環境問題がクローズアップされてきた。そこで、環境負荷の少ないラセッテーなめしに白羽の矢が立ったという。

「モンゴルの羊革は手触りも良く高品質ですが、付加価値を付けることが難しく、素材のみの輸出になりがちでした。このなめし方法に変えることで、エコであることも打ち出せますし、またモンゴル国内でものづくりまでも行えるアドバイスもしています。まずは羊革の質感を活かして“一頭からひとつしか出来ないクッション”を、クラウドファンディングを活用してアピールしていこうと思っています。」と山口社長は話す。

### ■幸せな豚たちを増やしたい「ハッピーピッグプロジェクト」

また2017年に山口社長が立ち上げた「一般社団法人　やさしい革」では、「ハッピーピッグプロジェクト」をスタートさせた。ケージに入れずに成育させた「ストールフリー」の豚のみの原皮を使ってなめし、国内の靴メーカーと協業で製造した豚革の靴をプロデュース。

アッパーにはピッグレザーを用い、メンズとレディスであえてデザインを同じくした、ユニセックスなタイプを打ち出す。この秋には六本木ミッドタウン内の「THE COVER NIPPON(ジ カバーニッポン)」にて、お披露目会を行う予定だ。

「日本では年間6.6億足の靴が消費されていますが、そのうち6.3億足が海外からのものです。そのうちの600万足だけでも日本製のものに取り戻せれば、私達タンナーを含めて、メーカー、卸などが再び元気を吹き返すことができます。そのためにも、『クロムゼロ』、『動物たちのストレスゼロ』、『仕事ストレスゼロ』、『不公正取引ゼロ』の4つのゼロを目指しています。」と山口社長。

“選ばれるのを待つのではなく、自分達が必要とされるものづくりにチャレンジする”。モンゴルでもハッピーピッグプロジェクトでも、山口社長が自らに課す言葉。常に前向きに、好奇心を持って新しい事業に取り組む姿勢が印象的だ。

### Editor’s Memo

- ◆モンゴル・ウランバートルでのプロジェクトの様子が、フジテレビ「フューチャーランナーズ」(2019年8月14日放送)にて放映も
- ◆羊の革は牛革に比べて薄手だが、吸い付くようなもっちりした革。クッションにはぴったりとのこと
- ◆山口産業では「マタギプロジェクト」も進行中。日本全国で問題になっている獣害を、皮革へと活用し製品にする支援を行う

YAMAGUCHI SANGYOU CO., LTD.
山口産業株式会社
〒131-0042
東京都墨田区東墨田 3-11-10

TEL: 03-3617-3868
FAX: 03-3613-3239
Mail: master@yamaguchi-sangyou.co.jp
http://russety.shop【販売サイト】

担当：小池 央
Hisahi Koike

**取扱素材・加工一覧　自社内で可能■　連携工場で対応◢**

■ 豚革　□ 牛革　□ ゴード 山羊　□ シープ 羊
■ タンニン鞣し　□ 混合鞣し　□ クロム鞣し　□ ホワイト鞣し　■ エコレザー認定可

**下　地**

■ オリジナル下地対応　最小ロット１００枚くらいから　□ サンプル製作可
□ 他社から手配可能 ……□ スエード ……□ ライニング
■ 下地の在庫あり ……□ スエード　色　小売可　■ ラセッテーナチュラル　１２色　小売可

**仕上げ方法**

□ サンプル製作可
□ 顔料　■ 染料　■ 素上げ　□ 抗菌加工　□ アンチック　□ シュリンク
□ しぼり染　□ 収縮　□ 手塗り　□ 撥水加工　□ クラック　□ プルアップ
□ パール加工　□ オイル　□ ウォッシャブル

**後加工**

□ 柔軟仕上げ　□ グレージング　□ フィルム加工　□ 箔加工　□ 型押し　□ 漉き
□ 縮絨加工　□ パンチング　□ 転写プリント　□ シルク印刷　□ カッティング
□ 3D加工　□ プリーツ　□ 吟スリ加工　□ 計量　□ インクジェットプリント

## 注目素材

**Natural（ナチュラル）**

植物タンニンなめしの自然な風合いと染め色のままお届けします。
約 140 デシ前後、1.1mm厚

**Niblick（ニブリック）**

WAX とオイルをふんだんに染み込ませた重厚感あるプルアップレザー。
約 140 デシ前後、1.2mm厚

**EXTRA（エクストラ）**

地シボと言われる特徴ある肌合いを生かすために高透明度の薄い塗膜で仕上げました。
約 140 デシ前後、1.1mm厚

**MATAGIプロジェクト鹿革・猪革**

全国 300 カ所以上と連携しています。

JFWジャパン・クリエーション2020出展企業

# 有限会社日下部工業所 シャーク・スキンを扱うタンナーです

問い合わせ

KUSAKABE Shark LEATHER CO.

〒329-440
栃木県栃木市大平町牛久 659

TEL.0282-22-2354
FAX.0282-25-6354

代表取締役 日下部 剛
Tsuyoshi Kusakabe

お客さまへ

水に強く、強度も高いシャーク・スキン（鮫革）は高級素材として人気です。独特のシボ感と使い込むほどに艶の出るシャークスキンなら当社にお任せください。

表面の凹凸のシボ感を生かした濃淡が美しい『シャーク・モノトーン』

使い込むほどに艶が出ます。高級感ある光沢『シャーク・ブラック』

## ピッグスキン取り扱い業者一覧

PIGSKIN FACTORIES

| | 所在地 | TEL | FAX |
|---|---|---|---|
| 石井製革所 | 131-0042 墨田区東墨田 3-18-7 | 3611-3237 | 3611-3232 |
| 石居みさお皮革 | 131-0042 墨田区東墨田 3-21-13 | 3616-8264 | 3616-8279 |
| ㈱エセカ | 131-0042 墨田区東墨田 3-18-6 | 3613-8851 | 3613-8854 |
| 小川化学㈲ | 131-0042 墨田区東墨田 3-15-15 | 3611-4907 | 3619-4428 |
| ㈲兼子皮革染色工場 | 131-0042 墨田区東墨田 3-14-25 | 3612-3710 | 3612-3665 |
| ㈲ティグレ | 131-0043 墨田区立花 4-8-17 | 3617-2997 | 3617-2998 |
| ㈲サンワレザー | 131-0042 墨田区東墨田 2-22-9 | 3617-2414 | 3617-2414 |
| 墨田革漉工業㈱ | 131-0041 墨田区八広 4-43-4 | 3613-2131 | 3619-5380 |
| ㈱墨田キール | 131-0041 墨田区八広 4-9-2 | 3617-8551 | 3617-8553 |
| 墨田産業㈱ | 131-0042 墨田区東墨田 3-5-18 | 3617-4411 | 3617-9100 |
| ㈲田丸製革所 | 131-0042 墨田区東墨田 3-6-5 | 3611-3062 | 5247-5287 |
| 長坂染革㈱ | 124-0006 葛飾区堀切 1-34-8 | 3691-1161 | 3691-1512 |
| 栃木レザー㈱ | 328-0033 栃木市城内町 2-1-4 | 028-224-0666 | 028-222-7377 |
| ㈱ニシノレザー | 131-0042 墨田区東墨田 3-5-3 | 3616-4961 | 3613-4602 |
| 福島化学工業㈱ | 131-0042 墨田区東墨田 3-9-17 | 3616-0010 | 3616-0013 |
| 本田産業㈱ | 131-0042 墨田区東墨田 2-16-1 | 3611-0205 | 3611-0213 |
| 本田皮革㈱ | 131-0042 墨田区東墨田 3-12-1 | 3611-2992 | 3611-2992 |
| まる幸商会 | 131-0042 墨田区東墨田 2-22-7 | 3611-1352 | 3611-1352 |
| 山口産業㈱ | 131-0042 墨田区東墨田 3-11-10 | 3617-3868 | 3613-3239 |
| 山巳皮革染色㈱ | 131-0042 墨田区東墨田 3-15-9 | 3616-2355 | 3614-2192 |



## 皮革産業を技術面からサポートします

TOKYO METROPOLITAN LEATHER TECHNOLOGY CENTER

# 東京都立皮革技術センター

〒131-0042
東京都墨田区東墨田3-3-14
3-3-14, Higashisumida, Sumida-ku, Tokyo, 131-0042, Japan

TEL.03-3616-1671
FAX.03-3616-1676
http://www.hikaku.metro.tokyo.jp/

皮革技術センターでは、皮革に関する試験、研究、技術支援を行っています。豚皮の有効利用、ピッグスキンの新規用途開発、革の特性、副廃物・廃棄物の有効利用などの研究を中心に行っています。

## 皮革技術センターへの試験依頼について

### 依頼試験

皮革技術センターでは、主に皮革・革製品に関する試験を行っています。
近年、商品の消費特性に対する消費者の関心が高まるにつれて、製造工程における品質管理の必要性が高まる一方、取引段階においても材料・製品の性能に関するデータが要求されるケースが多くなってきています。そこで、試験、検査設備を持たない中小業者のために、依頼に応じて皮革原材料、製品等について各種の試験等を行い、業界の一助としています。
また、これらの試験を通じて、企業の技術開発・製品の品質改善等に結びついた技術指導もあわせて実施しています。

### 依頼試験 ご利用の手順

1. 依頼試験項目等をご確認ください。
   ＨＰをご参照ください。http://www.hikaku.metro.tokyo.jp/
2. ご来所いただき、試験の申し込み時に料金をいただきます。
3. 試験が終了しましたら、ご連絡いたします。
   成績書を受け取りに、ご来所ください。

●不明な点は、電話等でお問い合わせください。
電話受付　月曜～金曜　9:00～17:00　03-3616-1671

### 主な試験例

■物理試験

| 試験項目 | 規格 | 料金 |
|---|---|---|
| 厚さ | JIS K 6550,6552,6557-1 | 970円 |
| 引張強さ | JIS K 6550,6552,6557-2 | 1,560円 |
| 伸び | JIS K 6550,6552,6557-2 | 1,560円 |
| 引裂強さ | JIS K 6550,6552,6557-3 | 1,560円 |
| 吸水度 | JIS K 6550,6557-6 | 1,950円 |
| 耐屈曲性 | JIS K 6545,6557-8 | 1,690円 |
| 染色摩擦堅ろう度 | JIS K 6547,6559-1,2 | 1,060円 |
| 染色摩擦堅ろう度 | ISO 11640,JIS K 6559-3 | 2,560円 |

■化学試験

| 試験項目 | 規格 | 料金 |
|---|---|---|
| 水分 | JIS K 6550,6558-2 | 1,430円 |
| 脂肪分 | JIS K 6550,6558-4 | 2,600円 |
| 皮質分 | JIS K 6550,6558-6 | 3,250円 |
| クロム含有量 | JIS K 6550,6558-8-1 | 2,210円 |

●その他の項目、詳細はお問い合わせください。

TOKYO LEATHER PIGSKIN 2020

# ピッグスキン工場マップ

工場への突然の訪問はご遠慮ください。あらかじめお問い合せをお願いいたします。

2019年10月現在

1 株式会社墨田キール

〒131-0041　東京都墨田区八広4-9-2
TEL.03-3617-8551　FAX.03-3617-8553

2 墨田革漉工業株式会社

〒131-0041　東京都墨田区八広4-43-4
TEL.03-3613-2131　FAX.03-3619-5380

3 山口産業株式会社

〒131-0042　東京都墨田区東墨田3-11-10
TEL.03-3617-3868　FAX.03-3613-3239

4 福島化学工業株式会社

〒131-0042　東京都墨田区東墨田3-9-17
TEL.03-3616-0010　FAX.03-3616-0013

5 株式会社ニシノレザー

〒131-0042　東京都墨田区東墨田3-5-3
TEL.03-3616-4961　FAX.03-3613-4602

6 有限会社 T.M.Y's

〒131-0042　東京都墨田区東墨田3丁目14番3号
TEL.03-5630-8189　FAX.03-3612-5111

7 有限会社兼子皮革染色工場

〒131-0042　東京都墨田区東墨田3-14-25
TEL.03-3612-3710　FAX.03-3612-3665

8 株式会社エセカ

〒131-0042　東京都墨田区東墨田3-16-8
TEL.03-3613-8851　FAX.03-3613-8854



有限会社ティグレ

〒131-0043　東京都墨田区立花4-8-17 鈴梅ビル1階
TEL.03-3617-2997　FAX.03-3617-2998

石居みさお皮革販売代理店　中村貿易株式会社

〒131-0045 東京都墨田区押上3-62-3中村ビル
TEL.03-6657-4440　FAX.03-5247-4080

長坂染革株式会社

〒124-0006　東京都葛飾区堀切1-34-8
TEL.03-3691-1161 FAX.03-3691-1512

TOKYO LEATHER PIGSKIN 2020


企画：株式会社ソーシャルデザイン研究所
協力：一般社団法人日本皮革産業連合会　吉村 圭司
産業・教育資料室きねがわ　岩田 明夫
東京都立皮革技術センター
編集・デザイン：徳永 美子 (design.T.rooms)
取材：川崎智枝、鈴木清之（B.A.G. Number）
イラスト解説ページ：進士 遙
撮影：馬杉 真理子
2019年11月発行